



基本構想の方向性

令和6年3月26日
企画部経営戦略課

0. 目次（本日の全体像）

第1部 前回の振り返り

1. 今年度の審議会の進め方
2. 基本構想と基本計画
3. 市が市民等と共有すべきビジョンを示すために

第2部 今回ご議論をいただきたい内容

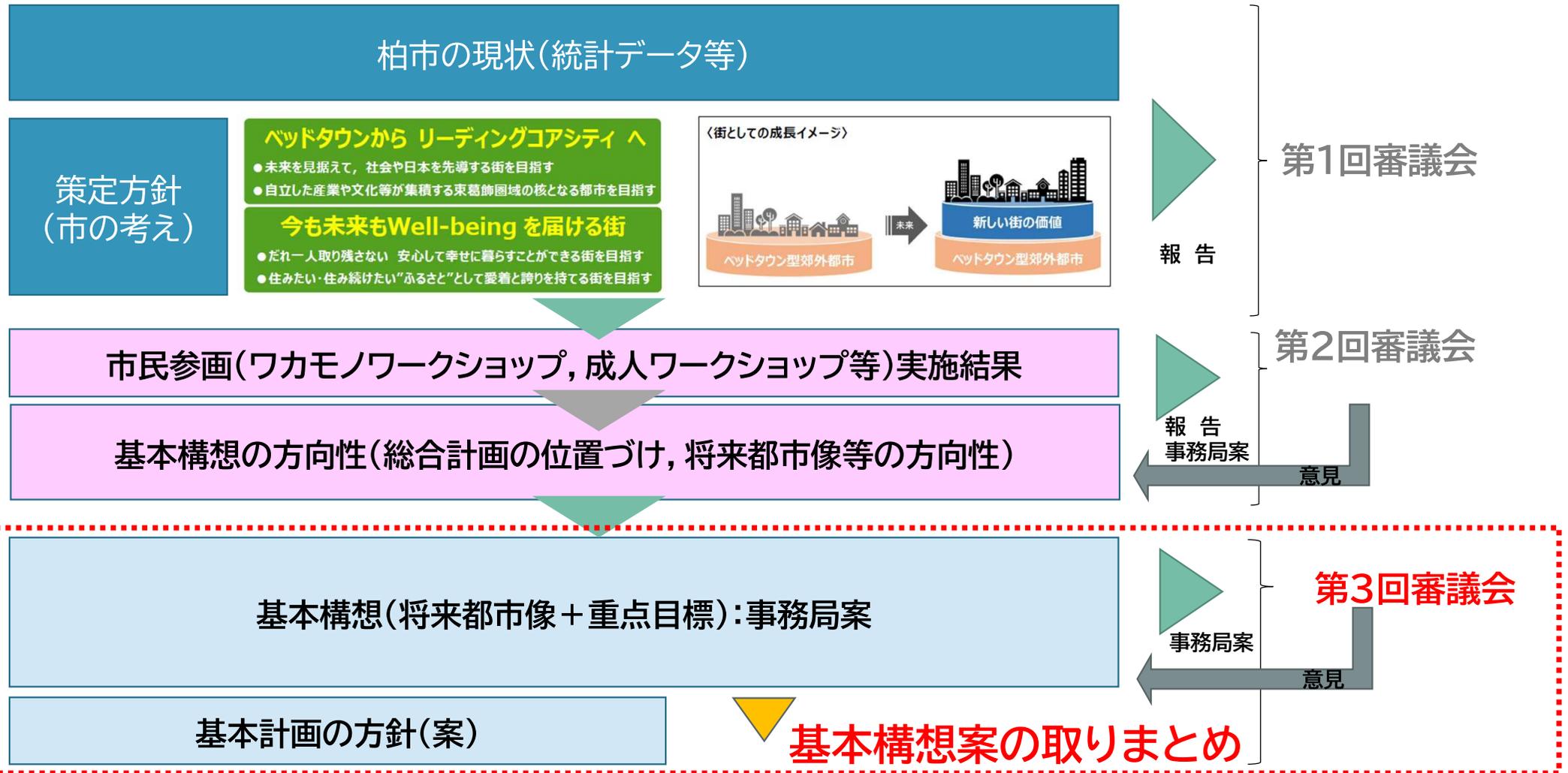
4. 柏市を取り巻く状況等
5. 重点目標
6. 将来都市像

参考資料

7. 重点目標と重点PJT（イメージ）
8. 基本計画（イメージ）

第1部 前回の振り返り

1. 今年度の審議会の進め方



2-1. 基本構想と基本計画

➤ 「総合計画」についての認識共有

憲法のようなもの

- 総合計画とは、地方自治体における行政運営の最上位計画であり、住民全体で共有する自治体の将来目標や施策を示し、全ての住民や事業者、行政が行動するための基本的な指針となるものです。自治体の全ての計画の基本となる計画のことで、自治体の全ての事務事業はこの総合計画に沿って行われます。
部門計画で、事業ごとに目標設定・年度ごと評価
- 総合計画は、行政運営の目的と手段を明確にするため、通常、「基本構想」、「基本計画」、「実施計画」の3層で構成され、それぞれ次のような役割を持っています。

「基本構想」：将来目標や目標達成のための基本施策を表します。

「基本計画」：基本構想に基づき、各部門における基本施策の内容を体系的に表します。

「実施計画」：基本計画で定める施策を計画的に実施するために必要な具体的事業を表します。

審議会で審議するのはこの部分

柏市の総合計画

● 総合計画とは？

総合計画

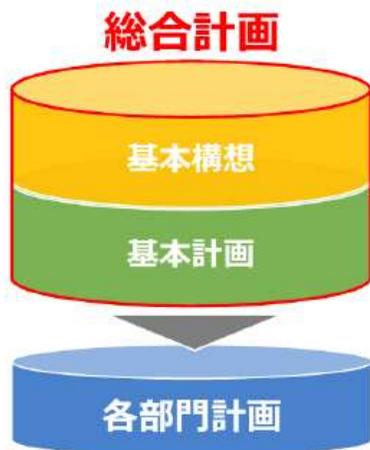
本市のまちづくりの指針・ビジョン
基本構想と基本計画で構成

基本構想

計画期間・将来人口推計・財政構造、土地利用構想・将来都市像及び重点目標で構成

基本計画

基本構想を踏まえた施策の方向性
 政策分野で構成



(前回の総合計画)

第五次総合計画の概要

将来都市像

未来へつづく先進住環境都市・柏

重点課題

- ①少子高齢化 ②地域を支える力の低下
 ③都市の魅力・吸引力の低下 ④地域特性の違い

まちづくりの基本的な目標

- ①充実した教育が実感でき、子どもを安心して産み育てられるまち
 ②健康寿命を延ばし、いつまでもいきいきと暮らせるまち
 ③地域の魅力や特性を活かし、人が集う活力あふれるまち

計画期間

2016年(H28)～2025年(R7)
 <前期:2016年～2020年 後期:2021年～2025年>

R6に1年前倒し

2-2. 基本構想と基本計画（第五次総合計画における基本構想 抜粋）

第3章 目指す将来像

本市は県北西部の商業中心都市として発展し、また、都心近郊のベッドタウンとして開発が行われ、人口の増加とともに公共施設や行政サービス等の整備・拡充を進めてきました。

しかし、今後は、人口の伸びが鈍化し、少子高齢化がより顕著になり、大幅な経済成長は見込めないと予測される中、これらの課題に対し何を行うべきかを十分に検討し、本市の魅力や強みを活かしながら都市の活力と生活の質を高めつつ、将来にわたって持続可能なまちづくりを市民・事業者・教育機関・行政等が一体となって進める必要があります。

そのため、みんなで共有できるように、柏のまちづくりの概念やイメージを目指すべき将来の都市像として設定します。

1 将来都市像

概ね今後10年を展望した本市の将来の姿を次のように設定し、目指す将来像とします。

未来へつづく先進住環境都市・柏
～笑顔と元気が輪となり広がる交流拠点～

2 設定にあたっての基本的な考え方

地域資源が活かされ、人が住まい、集うまちとなること

本市の将来の姿を考える出発点として、子どもたちが固有の歴史文化や風土、良好な教育環境の中で、未来の様々な分野の担い手に育ったり、心を癒し潤す恵まれた自然の豊かさ等がまちづくりに活かされたりしていることで、個々人の誇りや地域への愛着が高まり、長く住み続け、集いたくなるまちとなることが本市の理想の姿だと考えました。

第4章 まちづくりの基本的な目標（重点目標）

目指す将来像の実現に向け、まちづくりにおいて基本的・重点的に取り組むべき方向性として、以下の3つを掲げます。

1 充実した教育が実感でき、子どもを安心して産み育てられるまち

将来人口推計から見た本市の急激な少子高齢化を考えると、将来にわたって活力を維持し持続可能なまちとなるためには、子育て世代を中心とする生産年齢人口の維持・定着による人口構成バランスの保持が必要となります。

これまでは、商業のにぎわいや交通の利便性等の強みを背景に、本市に子育て世代が多く転入してきましたが、他市の沿線各駅の駅前開発等や郊外型の大型店舗の出店等により、それらの強みは弱まりつつあります。

そのため、子どもにとっても親にとっても、より魅力あるまちを目指すため、教育環境・子育て環境・生活環境等の充実を図ります。

2 健康寿命²⁰を延ばし、いつまでもいきいきと暮らせるまち

各種の取組により、長年働き社会経済を支えてきた方々が元気にセカンドライフを楽しむと同時に、社会活動の一端を担うことで生きがいと充実感が得られる環境をつくります。

3 地域の魅力や特性を活かし、人が集う活力あふれるまち

子どもから高齢者に至るまで、多世代がにぎわいを楽しめる魅力あるまちづくりを進め、常磐線や東武アーバンパークライン、つくばエクスプレス沿線における存在感を強く示し、地域を牽引する都市を目指します。

2-3. 基本構想と基本計画（第五次総合計画における基本計画 抜粋）

分野	施策	取組
① 子ども未来	1-1. 未来を担う生きる力を備えた子どもの育成	1) 学ぶ意欲と学ぶ習慣を身につける教育の推進
		2) 豊かな心を育む教育の推進
		3) 健やかな体をつくる教育の推進
		4) これからの時代に必要な力を培う教育の推進
		5) 支えが必要な子どもの支援の充実
	1-2. より良い教育のための体制・環境の整備	1) 地域と学校が一体となった教育の推進
		2) 教師力・学校組織力の向上
		3) 子どもの安全の確保
		4) 学校施設の適切な整備
	1-3. 子どもの育ちと子育てを支える環境の充実	1) 子育て・子育て・親育ちのための地域づくり
		2) 幼児教育・保育関連施設の整備
		3) 幼児教育・保育の質の確保・向上
	1-4. 子ども及び家庭の状況に応じたきめ細かな支援の推進	1) 子どもの健やかな成長支援
		2) 子育てで家庭の負担の軽減
		3) 配慮が必要な子ども及び子育て家庭への支援
	⑥ 安心・安全	6-1. 防災力の向上
2) 災害に備えた体制強化		
3) 火災予防の強化		
4) 消防体制の充実		
6-2. 健康被害の防止と安全の確保		1) 救急体制の適正化
		2) 健康危機に備えた体制づくり
		3) 食品・環境衛生対策の推進
		4) 感染症対策の充実・強化
		5) 人と動物との共生社会の推進
6-3. 防犯力の向上		1) 地域防犯力の強化
		2) 警察及び防犯関係機関との連携
6-4. 消費者の安全・安心の確保		1) 消費者の自立支援体制の整備
		2) 消費者問題解決力の高い地域社会づくり

② 健康・サポート

2-1. 健康寿命の延伸	1) 生活習慣病の発症及び重症化予防の推進
	2) 介護予防の推進
	3) 高齢者の社会・地域参加の促進
	4) 互いに支えあう健康な地域づくりの推進
2-2. 医療・介護及び支援体制の充実	1) 地域包括ケアシステムの推進
	2) 認知症対策の推進
	3) 各種介護サービスの整備・充実
	4) 安心して医療を受けられるための体制づくり
	5) 医療的ケアが必要な患者や家族等への支援
2-3. 自立と支えあいの地域福祉の推進	1) 障害者の在宅生活を支える基盤整備
	2) 障害者の自立、社会・地域参加の支援
	3) 相談支援体制の充実
	4) 権利擁護体制の充実
	5) 生活困窮者・被保護者への支援

③ 経済・活力

3-1. 魅力・吸引力の維持・強化	1) 新たな魅力を持った中心市街地の実現
	2) 北部地域の魅力創出・向上
	3) 手賀沼・東部地域の資源活用
3-2. 魅力ある産業の活躍	1) 戦略的な企業誘致
	2) 生産・販売力向上への支援
	3) 地域で支える持続可能な農業づくり
	4) きめ細かな就業支援
	5) 身近な商業等の活性化

3. 市が市民等と共有すべきビジョンを示すために

地方自治法の改正により総合計画(基本構想)の策定義務は撤廃

➡ 策定主体自らが、総合計画の意義(役割や果たすべき機能)を見出し、位置付けできる

【市民の声】※市民参画より

市民と行政との情報共有, 協働による
地域課題の解決には伸びしろあり。

情報共有を通じた地域課題の解決
を望む市民

【市の考え】※柏市第五次総合計画を振り返り

市役所内部のマネジメントに役立つよう「内部
向け」に重きをおいたが, 市民にわかりやすく
提供できたか。

内部マネジメントに重きをおき
行政サービスの向上を進めたい

市と市民が共有
できる計画づく
りが大切なので
はないか？

前回審議会でお示した「コミュニケーションツール」の補足説明

柏市は, 総合計画の策定や計画における将来ビジョンの共有などを通じて, 柏市に関わる全ての人(市民, 働く人, 学ぶ人, 起業する人, 遊びにくる人等)と共にまちづくりを進めていきたいという思いを込めたもの

第2部 今回ご議論いただきたい内容

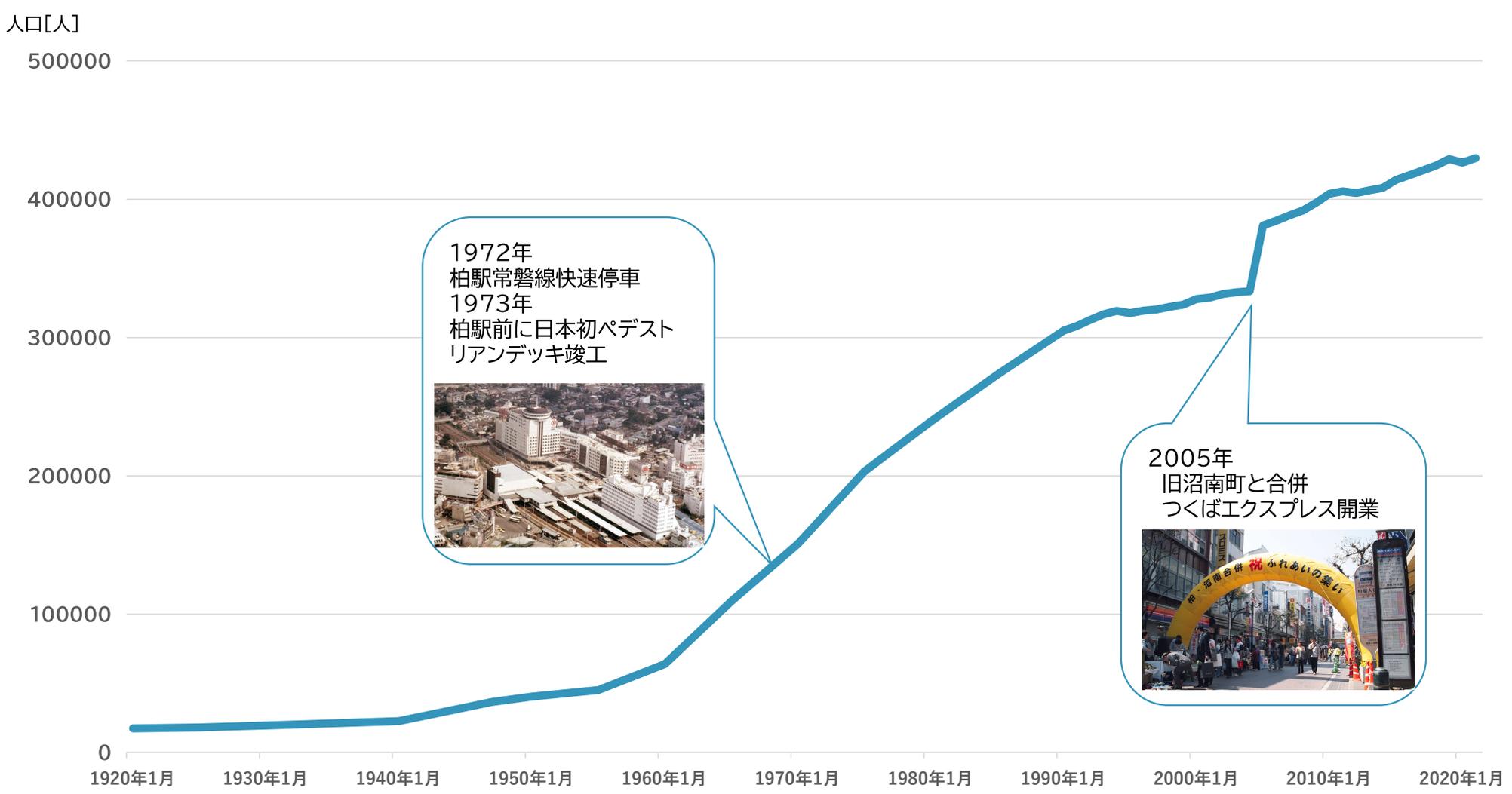
議論1 将来都市像について

- ・主要素である「誰もが」と「自分らしく」の考え方について、背景課題及び重点目標との齟齬はないか
- ・基本構想を端的に表現できているか。
- ・市内外に訴求し、共有することを踏まえ、より良いワード、フレーズ表現方法は無いか

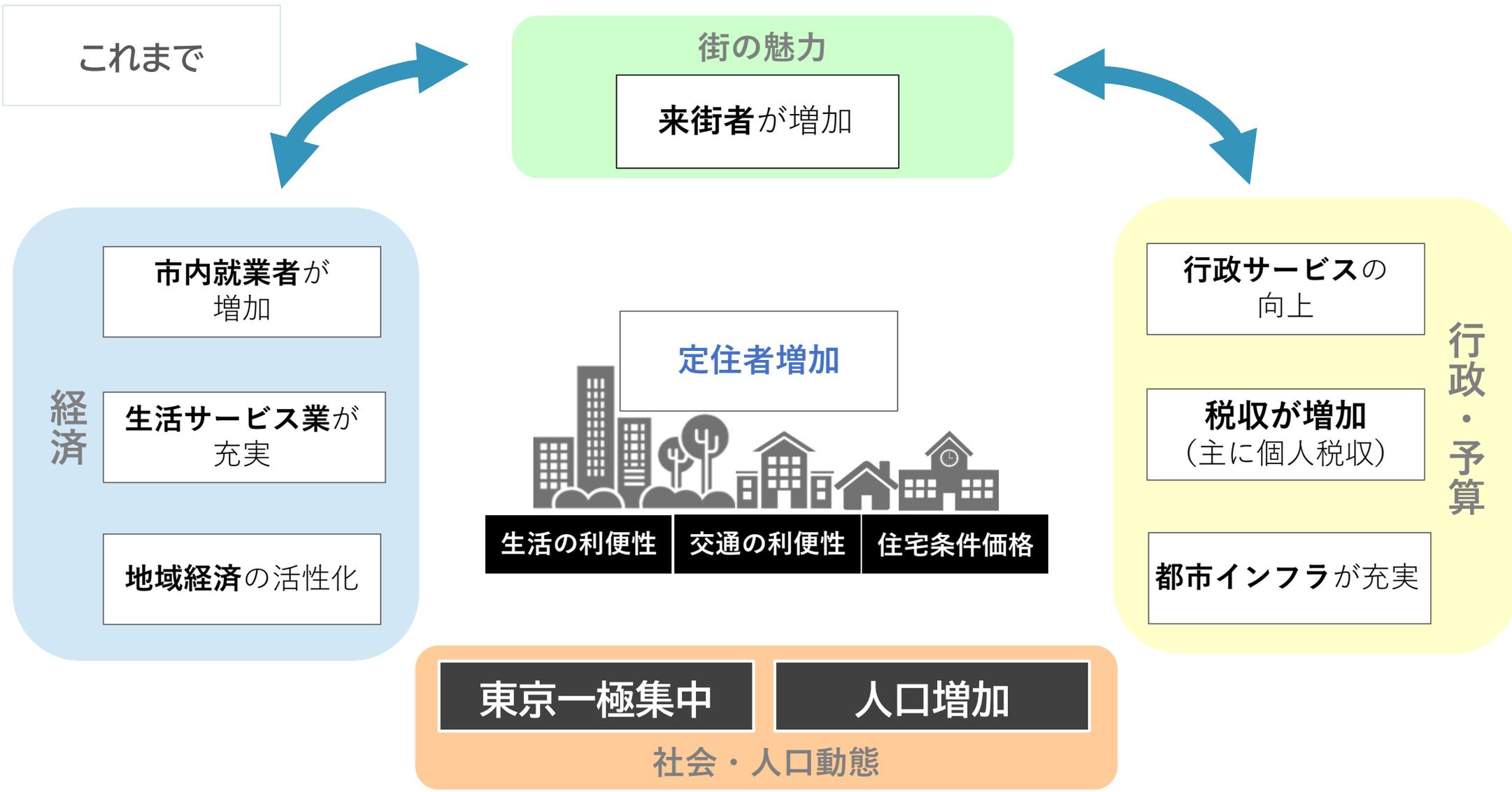
議論2 重点目標について

- ・重点目標(白文字部分)の表現の仕方はどうか。
- ・説明書きはそれぞれの目標を端的に説明できているか。
- ・推進すべき施策をある程度想起できるか。
- ・土台の「共創」の部分に違和感, 唐突感は無いか。

4-1. 柏市を取り巻く状況等（人口推移）

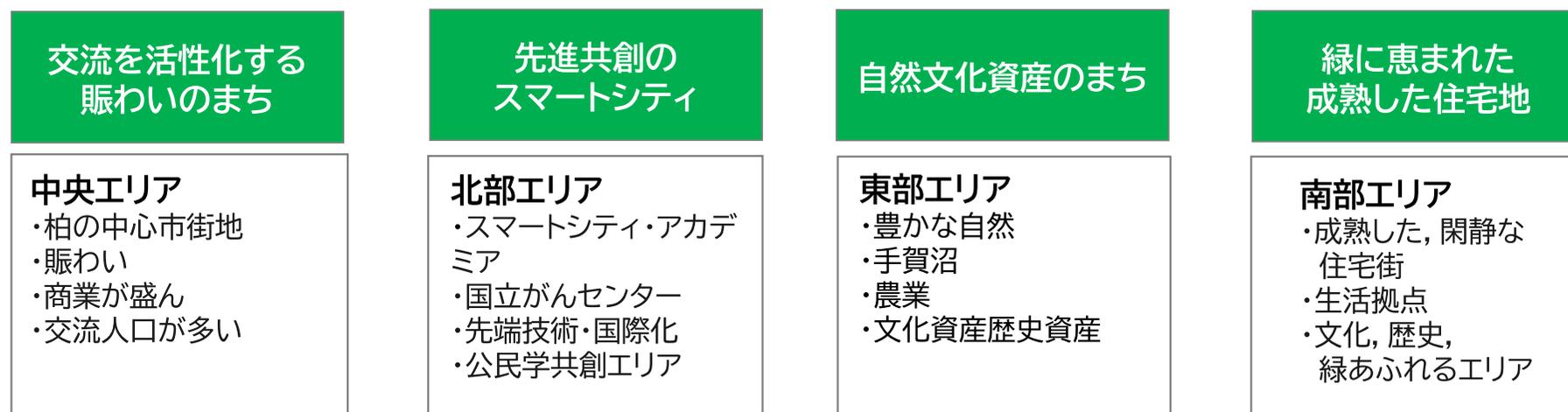


4-2. 柏市を取り巻く状況等 (人口増加を背景とした柏の成長サイクル)

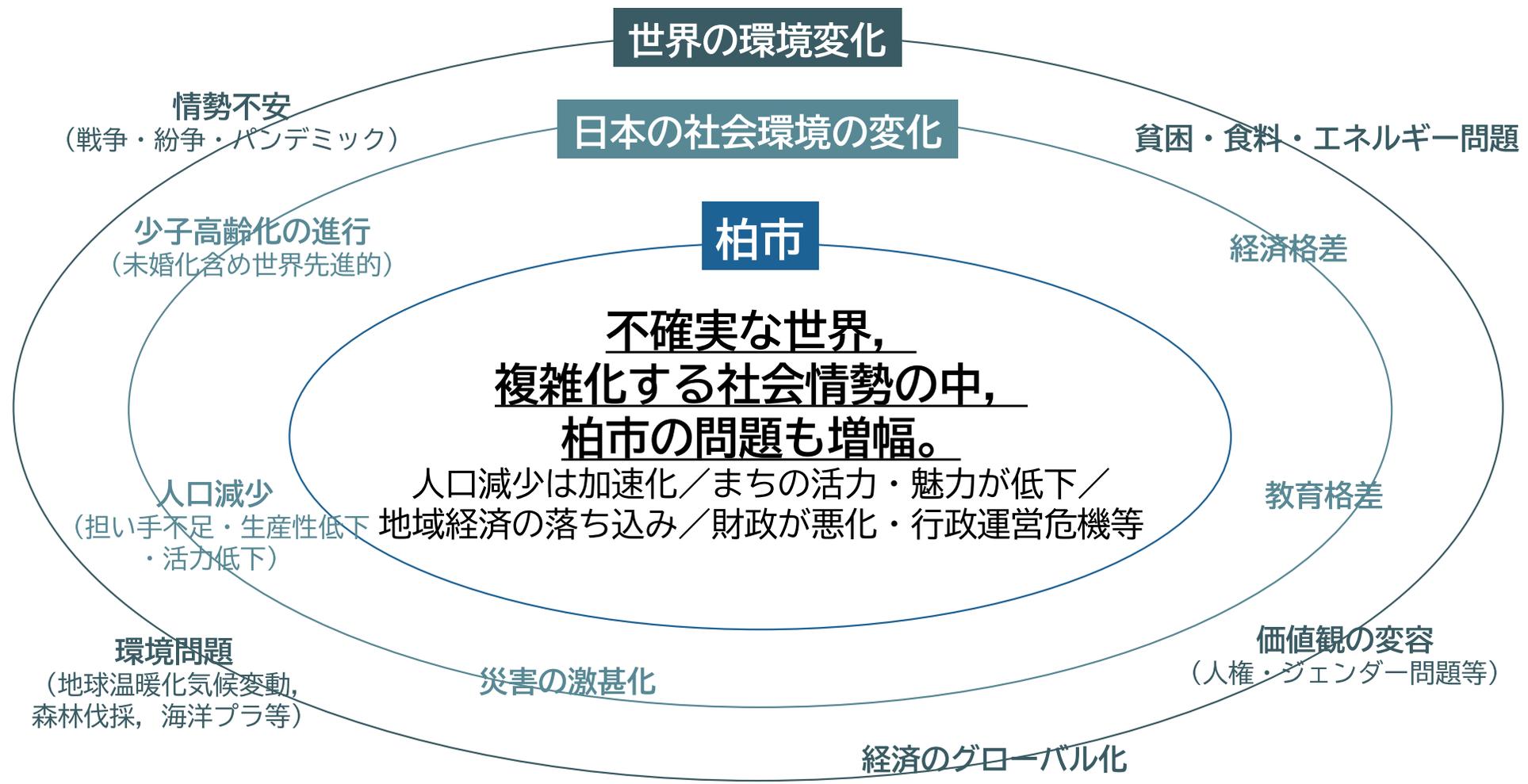


4-3. 柏市を取り巻く状況等（柏市の資産棚卸）

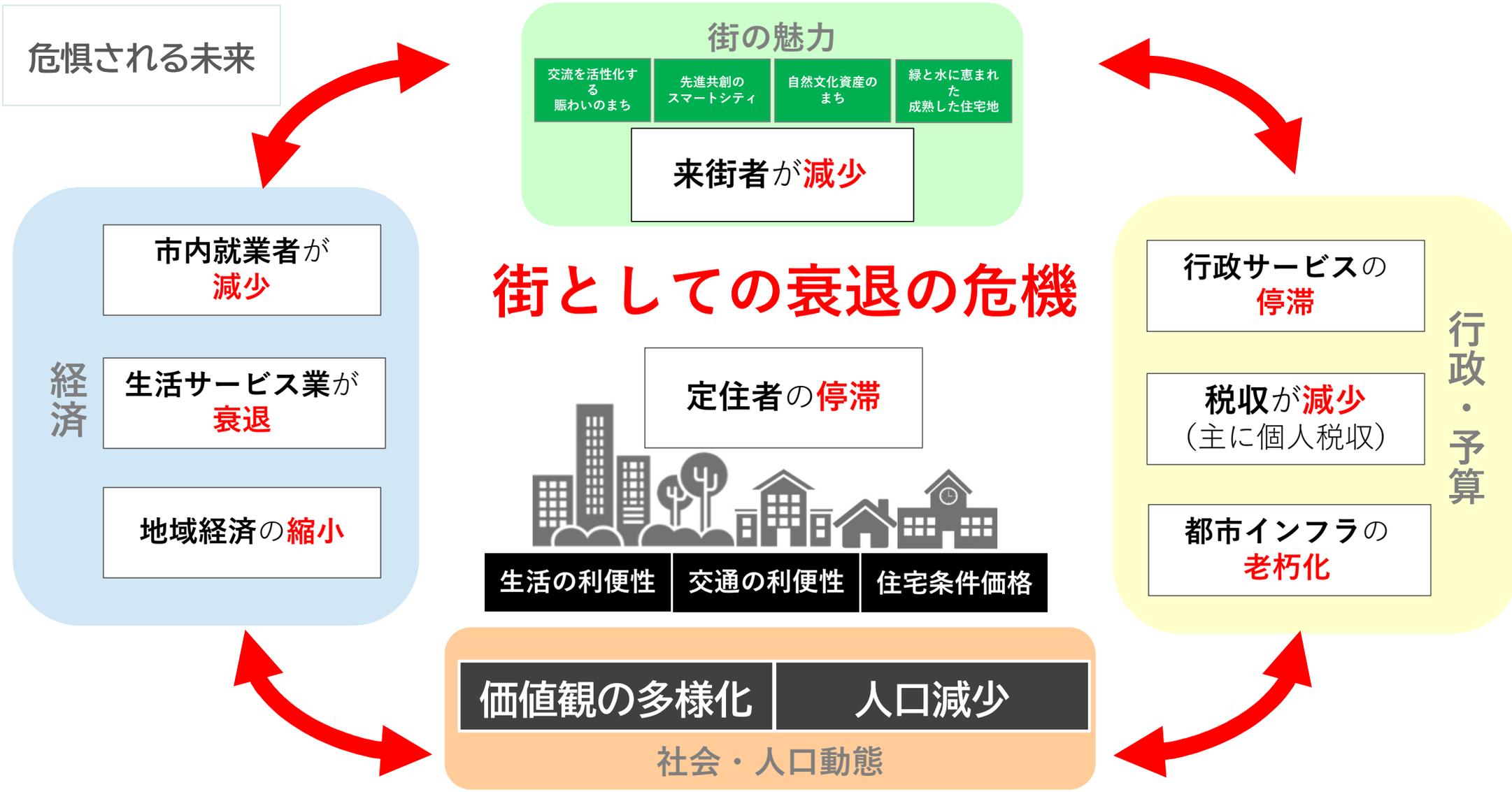
受け継いできた資産, 時代に合わせ生み出してきた資産, エリアごとにも多様な資産を保有。



- ベッドタウンとして発展してきた柏の良さである賑わい・利便性
- 先進的な取り組みにチャレンジできる素地
- 多面的なライフスタイルを支えることができる多様な環境

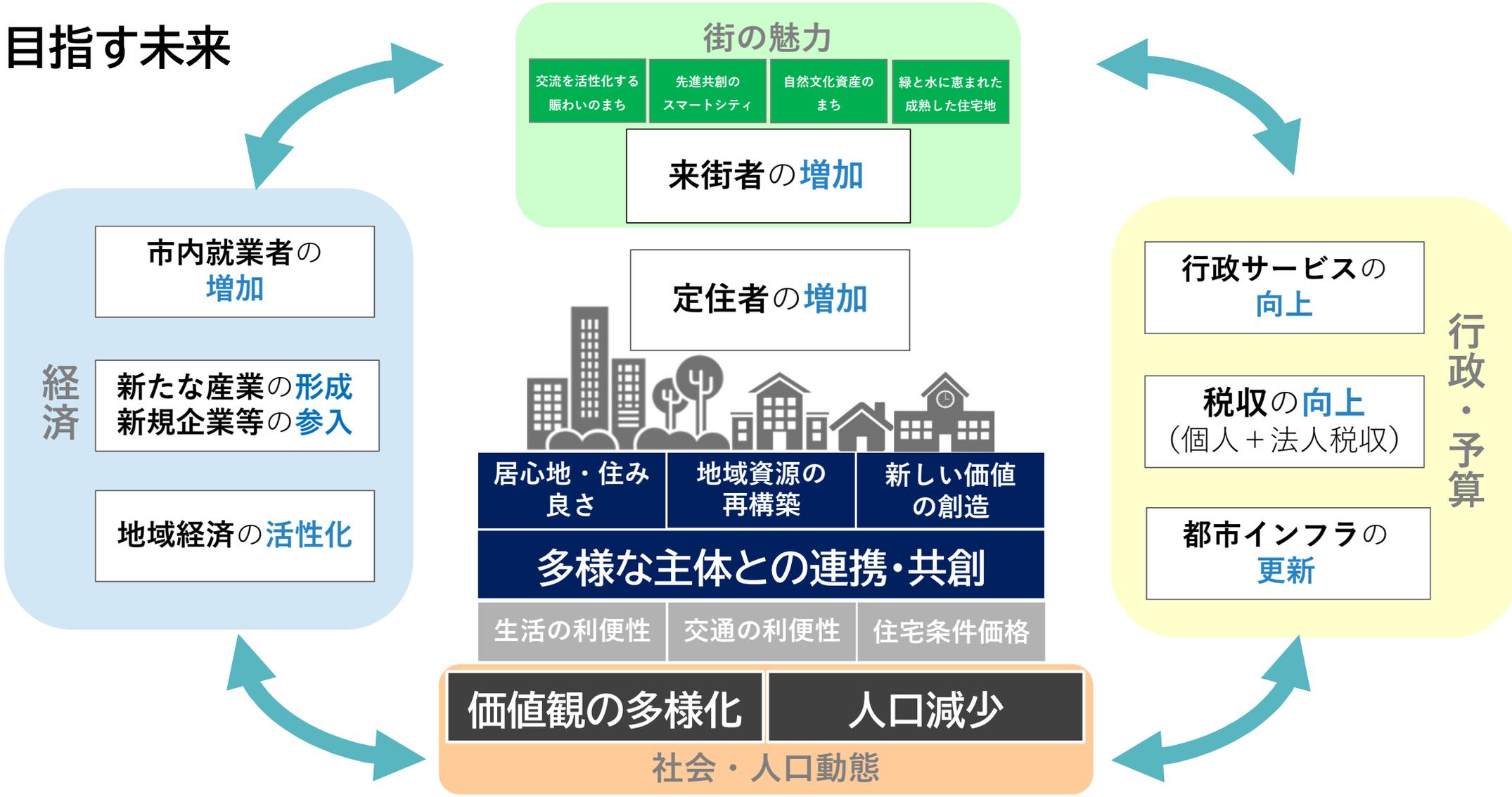


4-5. 柏市を取り巻く状況等 (危惧される未来)



4-6. 柏市を取り巻く状況等（目指す未来）

目指す未来



5. 重点目標（議論2）

重点目標①

住みやすさ・居心地よさの向上

これまでの生活利便性などの都市機能だけでなく、市民、来街者問わず、暮らしのなかにある憩いの時間や充実感、個人の心的幸福感などを感じられる都市機能の向上を目指す。

重点目標②

地域資源を磨きをかける

積み重ねてきた柏市の価値である地域の資源や特性の長所を生かしつつ、地域資源に磨きをかけて、変化する時代や社会のなかでも変わることのない柏の個性となることを目指す。

重点目標③

新しい価値の創造

居住としての機能や価値だけでなく、様々な都市機能を持つ街として、多くの人を惹きつける新たな街の価値を作り出し、広域的な拠点機能を持った街を目指す。

目標の達成には、これまで以上に市民・企業等との共創が必要

【議論2】

将来都市像の前提条件となる重点目標についてご議論をいただきたい

- ・重点目標(白文字)の表現の仕方はどうか。
- ・説明書きはそれぞれの目標を端的に説明できているか。
- ・推進すべき施策をある程度想起できるか。
- ・土台の「共創」の部分に違和感、唐突感は無いか。

○将来都市像を据えた基本的な考え方

これまで柏市が築いてきた資産を未来の担い手（子どもや若者）世代につなぎつつ、街としてさらなる成長を続けていくために、これまでの街の機能や価値だけでなく、多様性の社会のなかでも、誰もが暮らしやすい街を目指し、市民をはじめ様々な主体との連携と共創を図りながら、新しい時代に向けたまちづくりを目指す。

6-2. 将来都市像（議論1）

将来都市像を一言で表現すると（事務局案）

イメージフレーズ①

- ・ 住む人も、訪れる人も柏に関わる全ての人が自分らしく過ごすことができるまち

イメージフレーズ②

- ・ 柏に関わる人すべてが自分らしい物語を描けるまち

《フレーズにかけたねらい》

- ・ 居住者に加えて、交流人口、関係人口も合わせて重要性を想起させたい→訪れる人
- ・ 多様性を活かし、精神・物質的にも満たされた状態を想起させたい→自分らしく

【議論1】

- ・ 主要素である「誰もが」と「自分らしく」の考え方について、背景課題及び重点目標との齟齬はないか
- ・ 基本構想を端的に表現できているか。
- ・ 市内外に訴求し、共有することを踏まえ、より良いワード、フレーズ、表現方法は無いか

7. 基本構想（事務局案）の構成

街の理念

つづくを、つなぐ。

将来都市像

議論
1

基本的な
考え方

①住む人も、訪れる人も柏に関わる全ての人が、
自分らしく過ごすことができるまち

イメージ

②柏に関わる人すべてが自分らしい物語を描けるまち

重点目標①

住みやすさ居心地良さの向上

議論
2

重点目標

これまでの生活利便性などの都市機能だけでなく、市民、来街者問わず、暮らしのなかにある憩いの時間や充実感、個人の心的幸福感などを感じられる都市機能の向上を目指す。

重点目標②

地域資源を磨く

積み重ねてきた柏市の価値である地域の資源や特性の長所を生かしつつ、地域資源に磨きをかけて、変化する時代や社会のなかでも変わることのない柏の個性となることを目指す。

重点目標③

新しい価値の創造

居住地としての機能や価値だけでなく、様々な都市機能を持つ街として、多くの人を惹きつける新たな街の価値を作り出し、広域的な拠点機能を持った街を目指す。

8. グループディスカッション

街の理念

つづくを、つなぐ。

将来都市像
基本的な
考え方

議論
1

将来都市像
を実現する
ための条件

議論
2

參考資料

8. 重点目標と重点PJTイメージ

重点プロジェクトとは

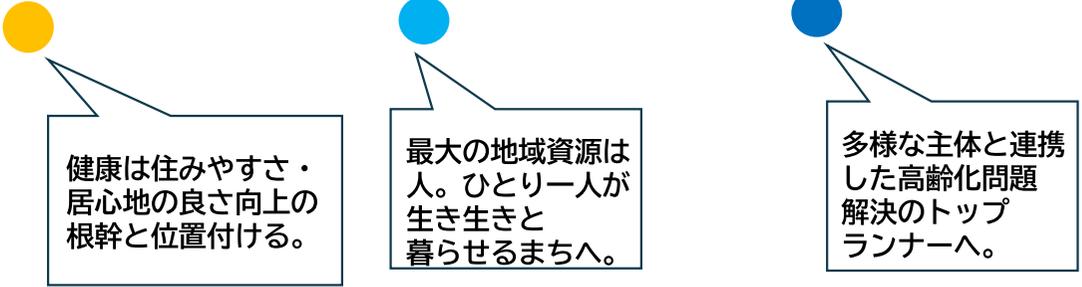
- ・ 将来都市像の実現に向け，特に**重点的且つ分野横断型**で**取り組む施策**を位置付けるイメージ

【柏市の将来都市像】

住む人も，訪れる人も柏に関わる全ての人が 自分らしく過ごすことができるまち



重点プロジェクト(検討中)



9. 基本計画イメージ

市民の暮らしが縦割りの施策を越えて、成り立つことも踏まえ、重点目標との関係を横断的な視点で、重点目標を定めていきたい。

第五次 総合計画 基本計画 と 重点目標の 組合せ事例	施策	重点目標①	重点目標②	重点目標③
		住みやすさ居心地良さの向上	地域資源を磨く	新しい価値創造
こども 未来	未来を担う生きる力を備えた子どもたちの育成	●	●	
	より良い教育のための体制・環境の充実	●	●	
	子どもの育ちと子育てを支える環境の充実	●	●	
	子ども及び家庭の状況に応じたきめ細かな支援の推進	●		
健康 サポート	健康寿命の延伸	●	●	●
	医療・介護及び支援体制の充実	●		
	自立と支えあいの地域福祉の推進	●	●	
経済活 力	魅力、吸引力の維持・強化		●	●
	魅力ある産業の活躍			●
地域 の 力	地域への参加と活動の促進	●	●	
	地域や社会の課題に対応した生涯学習の推進	●	●	
	誇りの持てる文化の醸成		●	●
	スポーツを愛するまちの実現		●	
環境・ 社会 基盤	豊かな自然環境づくり	●	●	
	環境負荷の低減	●	●	
	魅力あふれる都市空間の創出			●
	安全、円滑な交通環境の確保	●		
安心・ 安全	防災力の向上	●		
	防犯力の向上	●		
マネジ メント	持続可能な行政経営の実現	●	●	●
	公共施設等の最適化	●	●	